

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（仏生寺地区）

日時 2025/10/3 19:00～
場所 仏生寺公民館クラブハウス
出席者 25名
 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進行 19:00～19:03 市長あいさつ
 19:03～19:04 出席者紹介
 19:04～19:39 市政の概要について（市長説明）
 19:39～20:12 意見交換
 20:12～20:14 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■Jターンについて IJUターンのJターンは何のことか。</p>	<p>■企画政策部長 Jターンは生まれたところの近くに移住することである。最近では直接Uターンせずに周りに移住する傾向があるので、例えば、高岡出身の人でも氷見に住んでほしいという取り組みも行っている。</p>
2	<p>■融雪装置の設置について 寺中の交差点付近に4件のお店があるが大雪の際には雪で店に入ることができず、休業となる。県道なんですが、融雪装置の設置をお願いしたい。津々良トンネルから氷見市内までの構想があったと思うが、水不足のため工事ができない。冬の水量調査を行って再検討してもらえないか。</p>	<p>■建設部長 消雪施設の建設・維持管理にかかる費用は機械除雪に比べて約10倍の費用がかかることから、これまで、機械除雪が困難な人家連担区間などに設置している。また、水源の確保の課題がある。現在は、すでに設置されている消雪施設のリフレッシュに力を入れており、新設は難しいと伺っている。実情は県にお伝えする。</p>
3	<p>■県道仏生寺太田線 吉池の通行止めについて 現在通行止めになっている吉池の状況を説明してほしい。</p>	<p>■建設部長 地すべり災害は通常の災害と異なり、地すべりが収束してから諸手続きを始めるため、時間がかかることをご理解いただきたい。現在、県において発災直後から地すべりに関する観測を続けており、また、有識者の意見をいただきながら対策工の検討を進めている。吉池については、9月9日、10日に災害査定を受検し、今後は県から適切な時期に工事発注時期など地元への情報提供や工事に対する協力依頼があると伺っている。</p>
4	<p>■大覚口の阿効谷内池について 大覚口の阿効谷内池について、老朽化によって、水がたまらない。また、大雨が降ると水が止まらない。いつ予算が付くのか。</p>	<p>■建設部長 ため池の廃止は、地元からの申請を受けて（国や県の補助金を活用し）市で実施。一般的な維持管理は市単独か県単土地改良事業の補助金などを活用し地元が実施することになるが、保守の維持管理になると一部地元負担が発生するので、改めて相談いただきたい。</p>
5	<p>■避難訓練について 避難訓練を毎年行っており、県と県警と連携した訓練が2年連続で行われている。なぜ、市長は参加されないのか。ぜひ、仏生寺に来てほしい。</p>	<p>■市長 別の公務があったものと思う。また、参加させていただく。</p>

6	<p>■地域づくり協議会の補助金について 交付決定は受けているが、入金されていない。</p>	<p>■企画政策部長 補助金は本来、実績報告後に振り込まれるものであるが、地域づくり協議会の補助金は交付決定で、支払いは可能なので、その担当者がこの場にいるので終わりましたら、協議させてほしい。</p>
7	<p>■外国人の転入について 人口減少が本当に厳しい問題と思っているが、資料によると外国人が2024年に187人転入し、152人が転出している。プラス35人となっているので、内容を教えてほしい。 外国人が入ってきて問題になっているので、氷見市としての考えを聞きたい。</p>	<p>■市民部長 転入転出の主なところは、労働者として入ってこられる方が多いと思う。それ以外にも移住されて住む方も徐々に増えてきている。産業界としては雇用を確保したいので、地域の方と外国人の方とがコミュニケーションをとれるような体制を整えていきたい。</p>
8	<p>■人口減少について 外国人でもというのは語弊があるが、氷見市の人口を何とか減らさないように、目新しい政策を市長に頑張ってもらってやっていただきたい。</p>	<p>■市長 人の行き来があれば、活気が出ると思っているので、日本人、外国人と線を引くつもりはない。慣れないところに来られて生活習慣の違いで、変な誤解を生まないように、地域に馴染んでいただけるように目配せしていけたらよいと思う。</p>
9	<p>■吉池の水道について 吉池地区では、水道がなく、個々の家々で水を引いている。今年は暑い日が続いたために数軒で水が枯れてしまっ、生活に支障が出たり、豪雨で土砂崩れが起きたりして、そこから水を引いていた家ではしばらく水が来なかったということがあった。可能性の問題であるが、吉池地区で、簡易水道事業ができるのか、また、受益者負担になると思うが、どれくらいの負担でできるのか。</p>	<p>■企画政策部長 先ほど、簡易水道事業と言われたが、生活用水確保支援事業のことではないかと思う。補助率が3分の2の補助があるので、地域振興課にご相談いただきたい。</p>
10	<p>■定住者受入モデル地域支援事業について 定住者受入モデル地域支援事業の久目で行われている空き家流通の仕組みづくりは、市が動いてされてる事業なのか。リノベーションされた家を使って住んでいるとか、わかることを教えてほしい。</p>	<p>■企画政策部長 久目地区で行われているのはソフト事業で空き家の流通の仕組みを作るもので、空き家を把握し、それをどう活用し、どう流通させるのかを検討して取り組まれている。論田・熊無は空き店舗の改修を行い、移住者が宿泊し、地域住民と交流する他、草餅の加工所機能を備えた場所を整備する事業を行っている。移住定住モデル受入モデルは県の補助事業で、市も補助して地元負担が少ない形で行っている。仏生寺地区でも行いたいということであれば、相談いただければ県とも協議したい。</p>
11	<p>■論田熊無の事業について 論田熊無の事業は、個人的な団体なのか地域づくり協議会なのか。</p>	<p>■企画政策部長 論田熊無については、まず実行委員会を作ったが、空き店舗を買い取る必要があり、一般社団法人を作って行っている。ソフト事業を行うということであれば実行委員会のような任意団体で進めればよいと思う。</p>

12	<p>■インターチェンジ周辺の開発利活用について 産業づくりの能越自動車道のインターチェンジ周辺の開発利活用について、氷見に4つのインターチェンジがあり、氷見南インターが仏生寺地区にある。土地ならいくらでも提供するが、我々がこんなことをやりたいとかあれば、それに対して補助とか支援とかは可能か。</p>	<p>■産業振興部長 インターチェンジ周辺で可能性調査を昨年度行ったが、総じて氷見は地盤があまりよろしくないため、重い重機の製造業は難しいが、事務系やIT系、デザイン系、研究系など若者や女性が興味を示すような企業の誘致活動を続けている。それが実現すれば、企業の意向に沿って自治会や地権者と協議させていただく。 市内に企業が進出するときや市内の事業者が地元で作る時も同じで、企業立地の助成金などがある。</p>
13	<p>■氷見南インターを利用した周辺開発について 氷見から高岡に通勤する方の逆パターンで富山からも近いということで考えてみてはどうか。 具体的に氷見南インターを利用した周辺開発は計画があるのか。</p>	<p>■産業振興部長 氷見の場合、他市のように大規模な工業団地を作って企業を待つという方法はではなく、企業の方の相談に乗りながら地元地権者と調整に入るといった形をとることが多い。</p>